

「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト いつでも、どこでも、だれでも 学べる場へ！

他教科のレポートも掲載中！
HPをご参照ください。
発行：令和3年8月 東部教育事務所



授業づくり講座 in 香南市立野市小学校



授業研究会 7月2日(金)



授業者 岡田 翼教諭

単元名：「話し合い方大改造～目指せ！話し合いの匠」

学習材：「問題を解決するために話し合おう」東京書籍 第5学年

言語活動：学級の問題を解決するために、意図を明確にしなが計画的に話し合う。

(A話すこと・聞くこと 言語活動例ウ)

◇学校からの授業提案(学習指導部・授業者より)

- ・国語科で付けた力を特別活動(学級会)での話し合いで発揮できるように意図的に結び付けるカリキュラムマネジメントでの単元構成を行った。また、自分たちで考えた学級・学校全体の問題を話し合いの議題にすることで、それぞれの児童がより主体的に話し合いに参加できるのではないかと考えた。
- ・児童に毎時間のめあてを設定させ、めあてに沿った振り返りを行うことで主体的な学びができると考えた。

1 資質・能力を育成する単元づくり～学習指導要領の趣旨理解～

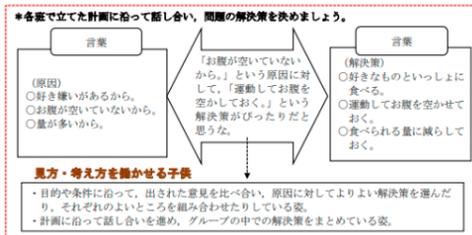
○協議の視点(1)言葉による見方・考え方を働かせた話し合いであったか。

○見方・考え方を働かせる場面では、原因についての解決策を考えることができていた。解決策を決める時には、視点(実現可能か)を意識させることでより考えやすくなっていた。

○出てきた原因をグループごとにまとめる時には、同じ言葉や似ている言葉に線を引くことで、可視化でき、解決策を考えやすくなっていた。

●原因に対しての解決策を、書いた付箋から選んでまとめることはできたが、さらによりよい解決策はないか、広げることは難しかった。原因についてのさらによりよい解決策を言葉からつなげるなどの思考の深まりが必要である。

学習過程	学習活動・留意点	評価規準・評価方法等
学習課題の把握	1. 学習計画を基に本時の課題を確認し、自分のめあてを立てる。 (本時の課題) 「給食の残食をなくするための取り組み」について話し合う。 ・学習の足跡を指示しておき、前時で行った問題(雨の日の休み時間に校舎内で騒いだり走り回ったりする人をなくするための取り組み)についての話し合いを振り返らせる。	
考えの形成	2. グループで話し合う。 ●各案で立てた計画に沿って話し合い、問題の解決策を決めよう。 ・提案を進行時の視点 ①実現可能な取り組みか ②より効果が表れやすいと考えると優先的に取り組むこと	【思・判・表A(1)オ】 意見ボード・議題 ・進行に沿って話し合いを進めているかの確認 ・集めた意見を比べたり、よりよいものを選んだり、互いの意見をまとめているかの確認
振り返り・共有	3. 本時の学習を自分のめあてに沿って振り返る。	

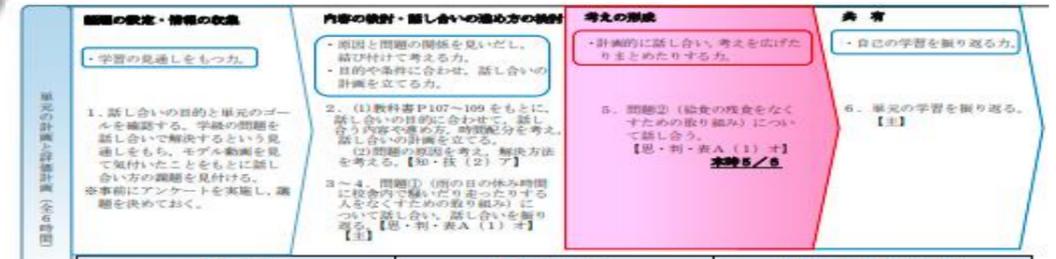


次回 第2回教材研究会 令和3年8月27日(金)

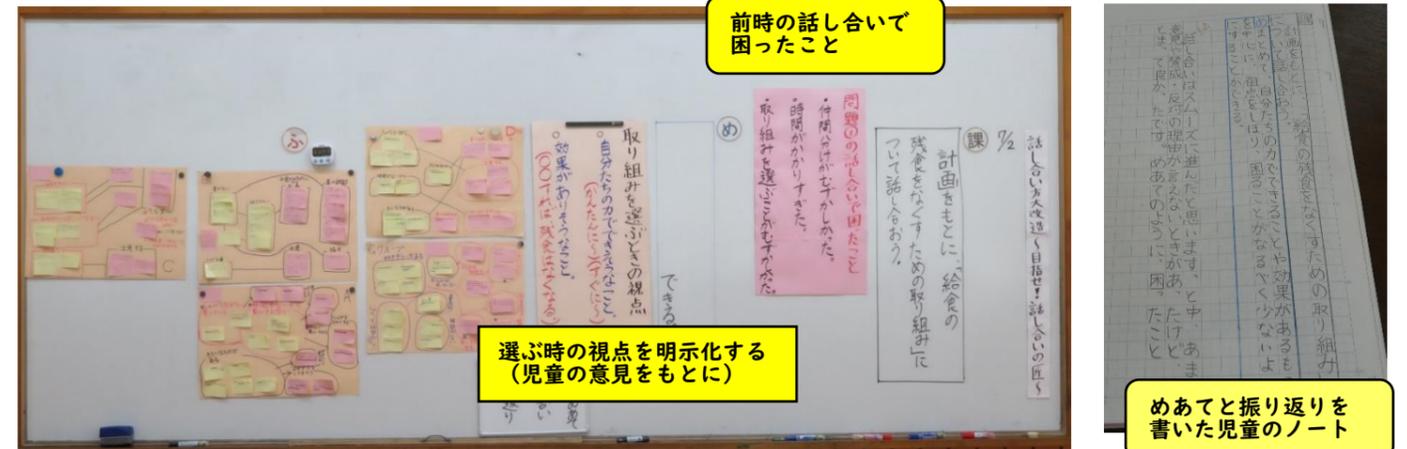
Check! 第3学年 単元名「ようこそ!3年2組の水ぞく館へ～たん当コーナーのみ力をスピーチで伝えよう～」
学習材：「話したいな、わたしのすきな時間」

2 授業力の向上～教材分析と授業省察～

○協議の視点(2)資質・能力を身に付けられる単元構成であったか。



- ・課題解決型学習で、自分の課題を明確にした上で、学習の見通しをもち、学びを進めることができていた。
- ・教科書教材での学習の話し合いの仕方のグッドモデルと自分たちの話し合いの仕方の違いを認識した上での学習であった。
- ・自分のめあてをそれぞれが考え設定し、振り返りをするすることで、前時までの学習での学びと比較したり、理解状況を把握したりとメタ認知ができていた。しかし、課題とずれためあてを設定していた子供がいたので、課題に沿っためあてになるよう意識させて、一人一人に設定させていくことが大切ではないか。



3 人とのつながり、学びの高まりの構築～他者との交流から学びの質を高める講座

参会者より

- 学習指導要領を基に、見方・考え方を働かせることがとても大切だと改めて感じました。教師が意図するものがあって、そこにいかに子供たちをもっていか、どのように支援や手立てをするのか、力を付けさせるためにはどうするのか、自分が考えるヒントがありました。
- 教科横断的に取り組む大切さを改めて感じました。今日の授業では国語で付けなければならない力は何なのか、特別活動で付ける力は何なのかを明確にしておかなければ身に付けさせたい力がぶれてしまうと思いました。
- 子供が振り返ることのできる足あとがたくさんあり、単元を通して力を積み上げることができるようになりたいと思いました。また、振り返りの視点とめあてが対応していたので、子供が授業を通してどう変化したのか分かるような振り返りの視点も意識したいと思いました。
- 学級会と国語をつなげて、教科横断的な指導ができており、子供が主体的に言語活動に取り組める単元構想でした。見方・考え方を働かせるためには、視点を子供が意識できるようにし、それに対して、授業内で継続して適切な支援を行う必要があると思いました。

授業者より

- 机間指導をしながら、中間評価をしたり、もう一度視点を確認したりして、児童が困り感なく、ねらいに沿った話し合いができるような手立ても考えられるようにしたいです。
- 話し合いの力は、学級会や他教科等でも必要となる力であるため、カリキュラムマネジメントの視点も視野に入れて単元構想をしたり、教材研究を行ったりしていくことが重要だということが分かりました。